Panasonic

取扱説明書

テレビドアホン

ブイエル エスイー エックス

VL-SE25X

VL-SE30XL

ブイエル エスイー エックスエル

電源直結式

確認と 準備

使い かた

各種 設定

必要な とき

ブイエル エスゼット ケイ VL-SZ25K ブイエル エスゼット ケイエル VL-SZ30KL

電源コード式

ブイエル エスイー ケイ VL-SE25K ブイエル エスイー **VL-SE30KL**

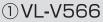
電源コード式

カメラ玄関子機 (本書の表記:ドアホン)



品

番





2 VI -V522I

モニター親機

(本書の表記:ドアホン親機)



- ③VL-MZ25K
- 4 VL-ME25K
- ⑤VL-ME25X



- 6 VL-MZ30K
- 7 VL-ME30K
- ® VL-ME30X

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をすると、いろいろな特典があります。 詳しくは22ページをご覧ください。

- 各製品の構成品は次のとおりです。
 - VL-SZ25K : ①と③ ・ VL-SE25K : ①と④
- VL-SE25X : ①と⑤
- VL-SZ30KL:②と⑥ VL-SE30KL:②と⑦
- VL-SE30XL: ②と®
- ③~⑧の場合、機器表面の品番表示では末尾の「K」「X」が省略されています。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、 取扱説明書とともに大切に保管してください。

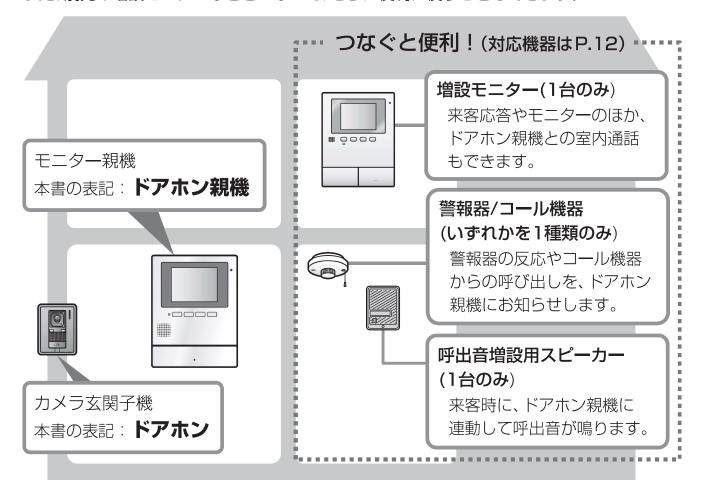
施工説明書 別添付

保証 別添 付

- 本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。 発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。
- ▶ 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

はじめに

本製品では、来客応答・モニター・録画/再生などができます。 また、別売の増設モニターなどとつないで、さらに便利に使うこともできます。



付属品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

〈ドアホン親機用〉

- □ 壁掛け金具......1 個□ 壁掛け用木ねじ・小ねじ........... 各2個〈ドアホン用〉
- □壁掛け用木ねじ・小ねじ............ 各2個
- 付属品は設置時に使用します。詳しくは 施工説明書をお読みください。



使ってみましょう

で使用前に必ず、日時設定をしてください。(P.8)

● 来客の呼び出しに応答する





1 ピーンポーンと鳴ったら、 ^{通話/終了}を押し、相手と話す

● 相手と交互に話してください。 同時に話すと声が途切れます。



2 終わったら、 通話/終了 を押す

● ドアホン側の様子を見る(モニター)



ドアホン側の様子を、映像と音で確認できます。 (室内の声は外に聞こえません)



- Ⅱ Ё=9- を押す
 - 映像が映り、周囲の音が聞こえます。



3

もくじ

確認と準備	
安全上のご注意 使用上のお願い 各部のなまえとはたらき(ドアホン親機) 各部のなまえとはたらき(ドアホン) 日時(時計)を設定する	.5 .7 .8
使いかた	
来客の呼び出しに応答する	.9 10 11 11 12 12
警報器やコール機器との連携	12
各種設定	
表示や音の設定を変える	13 14 14 14 15 15
必要なとき	
仕様	18 19

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や 損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容 | です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明 しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために



- ■分解・修理・改造しない
 - → 修理は販売店へご相談ください。
- ■ぬれた手で、電源プラグの抜き 差しはしない
- 雷が鳴ったら、ドアホン親機・ 電源プラグに触れない
- 湿気や湯気・油煙・ほこりの 多い場所では使用しない
- ■電源コード・電源プラグを破損 するようなことはしない
 - ・傷つける、加工する、熱器具に 近づける、コードに過度なストレスを加える (無理に曲げ る、ねじる、引っ張る、重いも のを載せる、束ねるなど) (傷んだまま使用すると、感 電・ショート・火災の原因)
 - →修理は販売店にご相談くだ さい。

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために



■ コンセントや配線器具の定格を 超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

- ■機器内部に金属物を入れない
 - →金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。
- ■機器(電源コードを含む)に水 をかけたり、ぬらしたりしない
 - →ぬれた場合は、すぐに電源 プラグを抜く、または電源 ブレーカーを切って販売店 へご相談ください。



■電源プラグは根元まで確実に 差し込む

(差し込みが不完全だと、感電 や発熱による火災の原因)

- → 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ■電源プラグのほこりなどは 定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり 火災の原因)

- →電源プラグを抜き、乾いた 布で拭いてください。
- ■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る

(そのまま使用すると、火災や 感電の原因)

- →使用を中止し、販売店へご 相談ください。
- ■電源プラグを抜くときは、 プラグ本体(金属でない部分) を持って抜く

(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)

企注意

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



■ 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止 (落下による破損やけがの原因)

■ スピーカーに耳を近づけて使用しない

(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

使用上のお願い

設置場所など、設置に関する内容は施工説明書をお読みください。

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、 肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

使用上のお願い(つづき)

個人情報について

ドアホン親機の本体メモリー(内蔵)には、 来客映像などの録画データ(個人情報)が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、 事故、故障、修理、その他の取り扱いよって 変化、消失することがあります。記録された 情報の変化、消失が生じても、それらに起因 する直接または間接の損害については、当社 はその責任を負えない場合もございますの で、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ●ドアホン親機の録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、P.17「設定の初期化」で 「設定の初期化+全画像を消去」をしてく ださい。
 - 初期化すると、ドアホン親機の本体メ モリーに記録された情報が消去されます。
 - ・故障の状態により、本機の操作が困難 な場合は、お買い上げの販売店までご 相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

P.17「設定の初期化」で「設定の初期化+全画像を消去」をしてください。初期化すると、ドアホン親機の本体メモリーに記録された情報が消去されます。

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

●汚れがひどいときは、柔らかい布に水を 含ませ、固く絞って拭いてください。

〈電源プラグを拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

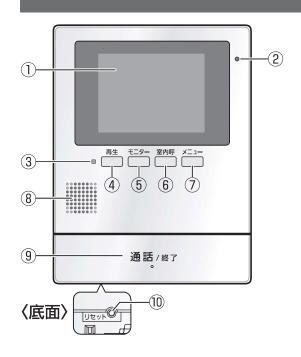
お願い

お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

- ■電源プラグは、設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、 異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。
- ●施工説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ●使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき(ドアホン親機)



- ①液晶ディスプレイ
- ②マイク
- ③お知らせランプ(赤)

新しく録画した未確認画像があるときに 点滅します。(ランプを消すには、再生ボタ ンを押してください)

4)再生ボタン

録画を再生します。(P.11)

⑤モニターボタン

ドアホン側の様子を確認できます。(P.9)

⑥室内呼ボタン

別売の増設モニター接続時、増設モニター 側の相手を呼び出します。(P.10)

⑦メニューボタン

機能設定の画面を表示します。(P.16)

- ®スピーカー
- ⑨通話/終了ボタン

本書での表記: 通話/終了

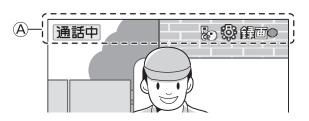
⑩リセットスイッチ

動作がおかしいときは、先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)

● ④~⑦のボタンは、画面下部に表示される機能(右上のⓒ)を操作するときにも使います。

画面について

〈画面上部の表示例〉



〈画面下部の表示例〉



④現在の状態をアイコンで表示します。

アイコン	意味		
通話中	ドアホンとの通話中		
モニタ-中	ドアホン側をモニター中		
ළිව	プレストーク通話中(P.9)		
** 1	ドアホンの照明が「ON」 (P.14)		
#	録画中		

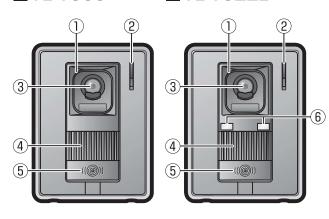
- ※1 VL-SZ30/SE30シリーズのみ。
- ®操作案内や現在の状態を表示します。
- ©操作場面ごとに有効な機能を表示します。 各機能の操作は、それぞれ画面下の4つの ボタン(左の4)~⑦)で行います。

本書での表記例: (決定) を押す

各部のなまえと はたらき(ドアホン)

■VL-V566

■ VL-V522L



- ①レンズカバー
- ②マイク
- ③カメラレンズ
- **④スピーカー**
- ⑤呼出ボタン・ランプ(ボタン中央:赤)
 - ◆接続したドアホン親機の電源が入ると ランプが点灯します。
 - ボタンを押し続けながら話すと、「ただいまコール」がはたらきます。
- ⑥LEDライト(照明用、VL-V522Lのみ)

ただいまコールについて

室内側の応答を待たなくても、玄関先から室内側に「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

- **1** 呼出ボタンを押したまま、約3秒後 に呼びかけ、終わったら指を離す
 - ●ドアホン親機から聞こえる声の大き さは、P.16「呼出音量(ドアホン)」の 設定に連動します。(「切」設定中は、 音量「小」で聞こえます)

ドアホンの画質について

設置環境や使用する時間帯によって、来客や背景の明るさや色味が変わることがあります。詳しくは(P.19)

日時(時計)を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。 必ず設定してください。

■未設定時は または を押したと きに日時設定を促すお知らせ画面が表示 されます。下記の手順で設定してください。

お知らせ画面を表示中に、(決定)を押す

2 下記の操作で日時を合わせる



3 日時を合わせたら、(決定)を押す

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は 1 か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、機能設定の「日時設定」で 行います。(P.16)

来客の呼び出しに 応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音 が鳴り、相手の映像が映ります。応答すると、 最大約2分間、通話ができます。

呼出音が鳴ったら、

通話/終了 を押し、相手と話す

2 終わったら、通話/終了 を押す

声で応答する(音声応答)

「音声応答 I (P.17) の設定をしておくと、ボ タンを押さずに声で応答できます。

- 呼出音が鳴ったら、「は一い」などの 声で応答し、相手と話す
- 2 終わったら、 通話/終了 を押す

お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)は約30 秒です。
- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相 手と交互に話してください。 同時に話すと声が途切れます。
- 音声応答設定時は、周囲音(ペットの鳴き 声、テレビの音など) に反応して応答して しまうことがあります。
- 「ただいまコール」(P.8)の呼びかけには、 音声応答できません。

周囲が騒がしく話しにくいとき (プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式で す。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声 が伝わりやすくなります。

通話中、「ピッ」と鳴るまで

通話/終了 を約2秒間押す

- が表示され、プレストーク通話 に切り替わります。
- **2** 相手と話す
 - ■話すとき(送話)

通話/終了 を押したまま話す(押して いる間、相手の声は聞こえません)

■聞くとき(受話)

通話/終了 から指を離す

(こちらの声は相手に聞こえません)

ドアホン側の様子を見る (モニター)

ドアホン側の様子を、最大約3分間、映像と 音で確認できます。

- モニター中、室内の声はドアホン側には 聞こえません。
- を押す
- 表示された映像と音声を確認する
- 終わったら、通話/終了 を押す

かお知らせ

● モニター中にドアホン側の相手と話すこ とはできません。相手と話すには、一度モ ニターを終了し、**通話/終す**を押してくだ さい。

室内の相手を呼び出す

別売の増設モニターを接続しているときは 下記の操作で増設モニター側の相手を呼び 出し、話をすることができます。

- **1** を押し、「プー」音に続けて 相手に呼びかける
 - ●相手が出たら、通話もできます。
- **2** 終わったら、通話/終了 を押す

増設モニターからの室内呼び出しに 応答するには

1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 通話/終了を押して話す

お知らせ

- 室内呼び出しは約30秒、室内通話は最大 約60秒です。
- 室内呼び出し中や通話中にドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、「ドアホン着信中」の表示が出ます。 〈呼び出しに応答するには〉
 - ① <u>通話/終了</u> を押す(室内呼び出しや通話が終了し、 ドアホン映像に切り替わります)
 - ② 通話/終了 を押し、来客と話す

録画する (自動録画/手動録画)

ドアホンの映像を、自動または手動で最大30件まで録画できます。

1件につき、静止画 1枚を録画します。(録音はできません)

着信映像の録画(自動録画)

来客から呼び出しがあると、約2秒後の映像を自動で録画します。

■留守などで呼び出しに応答しなかったときの録画は未確認画像として記録され、お知らせランプの点滅で通知されます。

モニター映像の録画(手動録画)

モニター中の映像は、必要に応じて手動で録 画することができます。

お知らせ

- 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。
- 手動録画した画像や、呼び出しに応答したときに自動録画された画像は、再生画面では確認済み扱いになります。
- ●録画がいっぱいになったとき 新しい画像を録画するために、古い画像 から順に自動で消去されます。(録画の自 動更新)

このため、手動で画像を消去しなくても、 録画できます。ただし、未確認の画像でも 消去されるため、消したくない画像は保 護設定してください。(P.11)

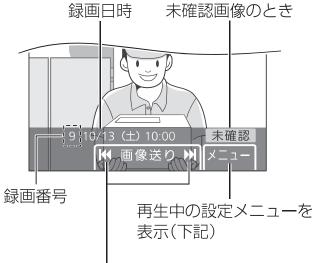
録画を再生する

お知らせランプが点滅しているときは、新しく録画された未確認画像があります。

- 再生ボタンを押すと、お知らせランプは 消灯します。

2 (決定)を押す

● 日時の最も新しい画像が表示されます。



前/次の画像に切り替える

- ●対応のボタンを押し続けると、早戻し/早送りになります。
- 3 終わったら、通話/終了を押す

■ 再生中の設定メニューでできること

- 画像に重なって表示されるガイドを消す(P.13)
- ●画像を保護または消去する(右記)
- ●画面の明るさを変える(P.14)

画像を保護する

最大10件まで保護設定できます。

1 画像再生中に

×ニュー を押し、 (▼選ぶ) で [保護]を選んで ×ニュ- (決定)を押す

●画面の右下に (-- 保護) (保護マーク) が表示されます。

保護解除するとき

- 1 保護画像を再生中に
 - メニュー を押し、 (▼選ぶ) で [保護解除] を選んで (決定) を押す
 - 保護マークが消えます。

画像を消去する

消去したい画像を個別に消去できます。

- ●画像を全消去するには(P.17)
- 1 画像再生中に

メニュー を押し、 (▼選ぶ) で [一件消去] を選んで (決定) を押す

2 モニター(はい)を押す

他機器と連携して使う

別売品や連携機器一覧

記載情報は2017年9月現在のものです。 内容は追加・変更になる場合があります。

別売品

価格やご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

増設モニター

VL-V632K

その他の連携機器

警報器やコール機器など(いずれか1種類のみ)

火災警報器

住宅用 火災警報器 (単独型、 移報接点 付き)※1 〈けむり当番〉

SHK28413、SHK38453 〈ねつ当番〉

SHK28113, SHK38153

●以下、能美防災(株)製 〈煙検知式〉FSKJ222-S 〈熱検知式〉FSLJ012-S

移報接点 アダプタ^{※2} SH2890K(連動型用)

SH3290K (ワイヤレス連動型用)

ガス漏れ警報器

SH1371, SH13928K

コール機器(コール用押しボタン)

WS65771, WS65311

呼出音増設用スピーカー

VL-862W、EC95352

(上記の表で、社名記載のない機器はすべて パナソニック製品です)

- ※ 1 単独型の火災警報器は 15台まで並列 接続できます。
- ※2 連動型の火災警報器を接続するための アダプタで、14台まで火災警報器を 接続できます。(接続できる火災警報器 は、移報接点アダプタの説明書でご確 認ください)

増設モニターとの連携

増設モニターで来客応答やモニターができるほか、ドアホン親機と増設モニター間で室内呼び出しや通話もできます。

(ドアホン通話の転送はできません)

- ●連携できる増設モニターは1台のみ。
- ドアホン親機との接続方法は、本機の施工説明書をお読みください。
- ●接続後は、P.17「増設モニター」設定を 「あり」に変更してください。

お知らせ

- ●増設モニターに下記の機能はありません。
 - 録画の再生機能
 - ■コール機器からの呼び出し通知機能

呼出音増設用スピーカーとの連携

来客時に、ドアホン親機に連動して呼出音を鳴らすことができます。

- 連携できるスピーカーは 1 台のみ。
- ドアホン親機との接続方法は、本機の施工説明書をお読みください。

警報器やコール機器との連携

警報器(火災警報器など)が反応したり、コール機器から呼び出しがあったときに、ドアホン親機でその通知を受けることができます。

- ●連携できるのは、警報器またはコール機器のいずれか1種類のみ。
- ドアホン親機との接続方法は、本機の施工説明書をお読みください。
- □ コール機器を接続したときは、P.17「外部入力」設定を「コール機器」に変更してください。

警報器やコール機器と連携時の 本機の動作について

警報器の反応やコール機器からの呼び出しは、通知音と画面表示で最大約3分間、ドアホン親機に通知されます。※1

	通知音	画面表示
警報器	ピロピロピロ ピロン(最大音量)	警報器が 反応しました
コール 機器	プップー・ プップー (音量:「大」)* ²	コールです

- ※ 1 警報器の反応やコール機器からの呼び 出しが終了すると、通知音や画面表示 も終了します。
- ※2 P.16「呼出音量」の設定で、「小」「切」 にすることもできます。
- ■通知音をすぐに止めたいとき

通話 /終了 を押す

● 音の鳴り始めから約5秒間は終了できません。

お願い

● 警報器やコール機器の点検時は、ドアホン親機の動作も確認してください。

お知らせ

- ●警報器の反応通知やコール機器からの呼び出しは、ドアホンよりも優先されます。
 - ●ドアホン通話中などの場合は、通話が切れて警報などの通知画面に変わります。
 - 警報器の反応中やコール機器から呼び 出し中は、ドアホンからの呼び出しは 受けられません。

表示や音の設定を変える

ガイドを消して映像全体を見る

下記の場面で、映像(画像)に重なって表示される様々なガイドを消すことができます。

- ドアホン着信・诵話・モニター中
- 録画した画像の再生中
- 2 モニター (はい)を押す
 - ガイドが消えて映像全体を見ることができます。

ガイドを再表示するには

上記と同様の操作で、[ガイド表示する]を選んでください。

表示や音の設定を変える(つづき)

ドアホンの照明設定をする

VL-SZ30/SE30シリーズのみ

ドアホンの照明は、自動または手動で点灯させることができます。

「ドアホン照明自動点灯」機能を使う

来客時やモニター時に周囲が暗いとドアホンの照明が自動で点灯する機能です。

●お買い上げ時の設定:自動点灯する(P.17)

必要に応じて手動で点灯させる

下記の場面で操作ができます。

- ドアホン着信・通話・モニター中
- **2** (▼選ぶ)で[照明]を選んで (○N)を押す
 - 消すときは ^{室内呼}(OFF) を押す

ドアホンの逆光補正をする

VL-SZ30/SE30シリーズのみ

下記の場面で操作ができます。

- ドアホン着信・通話・モニター中
- 1 上記場面のいずれかで を押し、
 モニター (▼選ぶ)で[表示の設定]を
 選んで メニュー (決定)を押す
- **2** (▼選ぶ)で[逆光補正]を 選んで (ON)を押す
 - ●補正の解除は ^{室内呼}(OFF) を押す

画面の明るさを変える

下記の場面で操作ができます。

- ▶ドアホン着信・通話・モニター中
- 録画した画像の再生中

着信・通話・モニター中の場合

- - ■VL-SZ30/SE30シリーズをご使用 の場合 続けて ^{モニター}(▼選ぶ)で[明るさ]を 選ぶ
- 2 ^{室内呼}(暗く)または メニュー (明るく) を押す

画像を再生中の場合

- **1** メニュー を押し、モニター (▼選ぶ)で [明るさ]を選ぶ
- 2 ^{室内呼}(暗く)または メニュー (明るく) を押す

ドアホンからの受話音量を変える

下記の場面で操作ができます。

- ◆ドアホン通話・モニター中
- 2 (▼選ぶ)で[受話音量]を 選んで ^{室内呼}(小さく)または メニュー (大きく)を押す

ドアホンへの送話音量を変える

送話音量は、ドアホン通話で玄関(ドアホン側)に聞こえる室内音声の音量です。 下記の場面で操作ができます。

- ▶ドアホン着信・通話・モニター中
- 1 上記場面のいずれかで を押し、
 モニター (▼選ぶ)で[音の設定]を
 選んで (決定)を押す
- 2 (▼選ぶ)で[送話音量]を 選んで (□ ハ)または メニュー(標準)を押す

呼出音を変える

待ち受け中、下記の操作でドアホンからの呼出音(音の種類と鳴りかた)を変更できます。

- 1 ★ニューを押し、モニター(▼)で[呼出と 応答の設定]を選んで ★ニュー(決定)を押す
- **2** (▼)で[呼出音]を選んで (決定)を押す
- 3 (▼) で音を選んで (決定) を押す
- **4** (▼) で鳴りかたを選んで (決定) を押す
- **5** 終わったら、

 通話/終了

 を押す

■呼出音の種類

音1	ピーンポーン
音2	ピーンポーンピーンポーン
音3	ポーンポーンポーン

呼出音量を変える

操作する場面によって、設定できる呼出音量 が異なります。

待ち受け中の場合

機能設定の画面で、ドアホン・増設モニター・コール機器からの呼出音量をそれぞれ設定できます。(P.16「呼出音量 | 設定)

ドアホン着信中の場合

ドアホンからの呼出音量を設定できます。

- 2 (▼選ぶ)で[呼出音量]を 選んで ^{室内呼} (小さく)または メニュー (大きく)を押す
 - ●呼出音を鳴らしたくないときは「切」が表示されるまで (小さく)を押し続けてください。
 (解除するには、メニュー(大きく)を押す)

室内呼び出しの着信中の場合

増設モニターからの呼出音量を設定できます。

1 (呼出音量)を押し、 ^{室内呼}(小さく)または ^{メニュー}(大きく) を押す

設定一覧と設定の変えかた

待ち受け中に、各種設定を変更できます。

- 1 を押す
- 2 項目一覧画面(①)で、設定する項目名を選ぶ(̄ー(▼)で選び ̄ー(決定))
- 3 機能一覧画面(②)で、設定する機能名を 選ぶ(̄ー(▽)で選び (決定))
 - ●機能によっては、サブメニュー(③)が表示 されます。
- 4 設定内容を選ぶ



- ●機能によってはこの操作を繰り返し行い、 設定完了後に 通話/終了 を押してください。
- ●機能によっては設定確認のメッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

①項目一覧画面



②機能一覧画面(例)



③サブメニュー(例)





「●」が現在の設定

■機能一覧

項目名	機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
最初の設定	日時設定		● 日時の変更ができます。日時の設定画面が出たら、P.8「日時(時計)を設定する」の手順2~3を行ってください。	2014年 1月1日 0時00分
ドアホン		ドアホン	大、中、小、切	
呼出音	呼出音量 室	室内呼	大、中、小	大
呼出と		コール機器	大、小、切	
応答の設定	呼出音		音の種類:音1~音3 鳴りかた:押すたび(押すたびに鳴る)、 繰り返し(鳴り続ける) ● ドアホンからの呼出音を設定します。 (詳細はP.15)	音 1 、 押すたび

項目名	機能名/サブメ:	ニュー	設定内容など	初期値
呼出と応答の設定			する、しない ドアホンの呼び出しに音声応答(P.9)できるようにするには「する」を選びます。(「する」に設定しても通話ボタンでの応答はできます)	
録画開始時間 録画再生 の設定			標準、遅い 「標準」: 呼び出しの約2秒後に録画を開始 「遅い」: 呼び出しの約3秒後に録画を開始 ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間など の映像が映りにくいときは「遅い」を選び ます。	標準
	画像全消去		すべての画像を消去、 保護画像を残して消去、戻る	_
	増設モニター		あり、なし ● 増設モニター接続時は「あり」を選びます。	なし
接続機器 の設定	ボフホン 照明自動 点灯 モニター時		する、しない 「する」の場合、来客時やモニター時にドアホン側が暗いと、ドアホンの照明 (LED ライト) が自動点灯します。	する
外部入力			警報器、コール機器 ● 外部入力端子の接続機器を選びます。	警報器
お知らせランプ点滅		プ点滅	する、しない 新しく録画した未確認画像があっても、 お知らせランプが点滅しないようにした いときは、「しない」を選びます。	する
その他の設定	設定の初期化		設定の初期化+全画像を消去、 設定の初期化のみ、戻る ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「設定の初期化+全画像を消去」を選びます。 ● 「接続機器の設定」にある「増設モニター」の設定は、初期化されません。	_
展示モード(販売店専用)			する、しない 通常は使わないでください。 (店頭販売時の展示用などに使うモードです)	しない

仕 様

ドアホン親機(モニター親機)

電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)		
消費電力	待機時:約1.6 W 動作時:約7.5 W		
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行)	約 169 × 129 × 29 (突起部除く)		
質 量	VL-MZ25/ME25 電源コード式:約405 g 電源直結式 :約340 g VL-MZ30/ME30 電源コード式:約410 g 電源直結式 :約345 g		
使用環境条件	周囲温度: 0℃~+40℃ 湿度:90%以下		
画面表示	VL-MZ25/ME25: 約2.7型カラー液晶 ディスプレイ VL-MZ30/ME30: 約3.5型カラー液晶 ディスプレイ		
通話方式	音声交互自動切替方式		
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)		
外部入力 (警報器 など)	入力方式:無電圧メーク接点 検出確定時間: 0.1 秒以上 接点抵抗値: ・メーク時 :500 Ω以下 ・ブレーク時:15 k Ω以上 端子間短絡電流: 5 mA以下 端子間開放電圧: DC 7 V以下		

ドアホン(カメラ玄関子機)

電源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行)	約 13 1 × 99 × 36.5 (突起部除く)
質 量	約200 g
使用環境条件	周囲温度: -10℃~+50℃ 湿度:90%以下
取付方法	露出型: JIS 1 個用スイッチボッ クス適合
外観材質	難燃樹脂
最低被写体 照度	1 ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	VL-V566: 赤外線LED VL-V522L: LEDライト(照明用ランプ)、 赤外線LED
防水性	IPX3*1

※1 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧 した水によっても有害な影響を及ぼさ ないレベル

商標など

- QR コードは株式会社デンソーウェーブ の登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

困ったとき

ドアホンの映像表示や録画画像について

人の顔が暗く映る

ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。

- ドアホンが VL-V566 の場合
 - →逆光にならない位置に、設置し直してください。
- ドアホンが VL-V522Lの場合
 - → 逆光補正をしてください。(P.14)

背景が緑っぽく映る

夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は、緑っぽく映ることがあります。(故障ではありません)

被写体が白黒(または青紫)っぽく映る

夜間など、ドアホンの周囲が暗いときは色味が落ちるため、被写体が白黒(または青紫)っぽく映ることがあります。

- ドアホンが VL-V566の場合
 - →補助灯などの設置をお勧めします。
- ドアホンが VL-V522Lの場合
 - →ドアホンの照明(LEDライト)が消灯している可能性があります。暗いときは照明を点灯させるようにしてください。(P.14、17)

LEDライト付きのドアホン(VL-V522L)なのに、夜間の映像が暗く、顔が識別できない

- ●「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか?(P.17)
 - →設定を「する」にしてください。
- ●ドアホンの照明(LEDライト)点灯時でも、カメラレンズの向きによってはライトが届かず、顔の識別がしにくくなります。
 - →補助灯などの設置をお勧めします。

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

ドアホンのレンズカバーが汚れている、または結露していませんか?

- →汚れているときは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- →寒暖の差が大きい季節に結露することがあります。(周囲の温度が常温に戻れば回復します)
- →ドアホンを取り付ける壁に大きな穴が 開いている場合は、断熱材(発泡スチロールなど)を用いて、壁の穴を埋める か、壁とドアホンの間に挟むと結露し にくくなります。

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

明るさの設定は適切ですか?

→明るさを調整してください。(P.14)

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

ドアホンのカメラレンズに太陽光などの 強い光が当たると、見えにくくなる場合が あります。(故障ではありません)

→直接、太陽光が当たらない位置に設置 してください。また、ドアホン全体の向 きを変えることにより症状が軽減され る場合があります。

画面の背景に、小さい黒点がある

太陽が映りこんでいませんか?

→太陽が映ると、太陽の中心部が黒点に 見えることがあります。(故障ではあり ません)

画面全体がちらつく

ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の 照明がありませんか?

→周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)

夜間に録画されたドアホン画像が暗い

夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。

→ 「録画開始時間」の設定を「遅い」にして ください。(P.17)

困ったとき(つづき)

応答・通話

音声応答がうまくいかない

応答の声が小さかったり、「は一い」などの 声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎたりす ると、うまく応答できません。

→「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。

通話が途切れる、 または、ほとんど聞こえない

自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか?

→ 問りの音が大きいと、通話が途切れる ことがあります。プレストーク通話に 切り替えると、話しやすくなります。 (P.9)

呼出音

ドアホンからの呼出音が鳴らない

呼出音量が「切」になっていませんか?

→「呼出音量」の設定を変更してください。 (P.16)

他機器との連携

- 増設モニターを接続したのに、ドアホンからの呼び出しに連動しない
- ドアホン親機に「U88 増設モニターが 設定されていません」と表示される

増設モニターを使うには設定が必要です。

→「増設モニター」の設定を「あり」に変更 してください。(P.17)

コール機器を接続したのに、コール機器からの呼び出しが、ドアホン親機に通知されない

- コール機器を使うには設定が必要です。
- → 「外部入力」の設定を「コール機器」に変 更してください。(P.17)

その他

「U 1 1 ドアホン親機が接続されていません」と表示される

ドアホンとドアホン親機間の配線に問題がある可能性があります。

→接続や配線を確認してください。

画面に「時計を設定してください」と表示されている

日時が設定されていません。または、停電 などにより、設定した日時が消えています。

- → 設定してください。(P.8)
- 画面に「展示モード」と表示されている
- 通話ができない

「展示モード(販売店専用)」が設定されています。

→ 「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」にしてください。(P.17)

正しく操作しても動かない 動作がおかしい

ドアホン親機の底面にあるリセットス イッチ(P.7)を先端の細いもので押して ください。(録画された画像、登録した設定 内容などは消えません)

ドアホン親機が動作しない

- ・映像が映らない
- 呼出音が鳴らない
- 音声が出ない
- ■電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか?
 - →電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ●電源直結工事をして、ご使用のとき
 - →お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の 前に

- ① 19~20ページの「困ったとき」をご確認ください。
- ② 裏表紙のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

使いかた・お手入れ・修理などは…

- ■まず、お買い求め先へご相談ください。
 - ▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話()		
お買い上げ日	年	月	
品番			

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日・品番・下記の内容をご連絡ください。

製品名	テレビドアホン
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検 などの費用

部品代部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間

7年

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホンで相談窓口」「修理で相談窓口」にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お願い

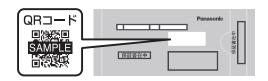
- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ●修理を依頼する前に、P.6「個人情報について」を必ずお読みください。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる 詳しくはこちら http://club.panasonic.jp/aiyo/



● 保証書のQRコードから登録していただくと、 品番登録と製造番号を入力する必要がなく、 簡単に登録いただけます。



さくいん

アルファベット	消去(画像)	や 行
	●1件消去11 ●全消去17	- 呼出音(種類を変える) 15 呼出音増設用
あ行	照明設定	スピーカーとの連携 12
明るさ設定 14	●ドアホン照明の	●対応機種 12
移報接点アダプタ 12	手動ON/OFF 14	呼出音量
液晶ディスプレイ 7	●ドアホン照明の	
お知らせランプ	自動点灯設定17	ら 行
●ランプの点滅設定 17	スピーカー 7, 8	リセットスイッチ 7
お手入れ	設定の初期化17	レンズカバー8
音声応答	増設モニターとの連携 12	
音	●対応機種12	録画→「画像」を参照
●受話音量14	送話音量 15	
● 文品 日里 14 ● 送話 音量 15		
●呼出音量 15, 16	た行	機能設定の
●吁山白里 10,10	ただいまコール8	機能名から探す
か 行	ドアホン	【最初の設定】
	(カメラ玄関子機) 8	日時設定 16
ガイド表示 13	ドアホン親機	
画像	(モニター親機)	【呼出と応答の設定】
●録画(自動/手動) 10	時計 8	呼出音量 16
●再生		呼出音 15, 16
●保護/保護解除 11	な 行	音声応答17
●消去 1]	日時設定	「独南市什の乳ウ」
画像全消去		【録画再生の設定】
カメラレンズ8	は 行	録画開始時間
逆光補正14	プレスト ー ク通話	画像全消去17
警報器やコール機器	別売品 12	【接続機器の設定】
との連携 12	保護/保護解除 11	増設モニター17
●対応機種12	保証とアフターサービス 21	ドアホン照明自動点灯 17
	休証とアフターリーヒス 21	外部入力
さ 行	丰	7162773 17
再生(画像) 11	ま 行	【その他の設定】
室内呼(室内通話) 10	マイク 7, 8	お知らせランプ点滅 17
自動録画10	モニター(様子を見る) 9	設定の初期化17
修理ご相談窓口 裏表紙		展示モード(販売店専用) 17
手動録画 10		
受話音量 14		
仕様 18		

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック 総合お客様サポートサイト http://www.panasonic.com/jp/support/

使い方・お手入れなどのご相談

ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口

パナは キュウハチサン **0120-878-983** 受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

上記電話番号がご利用いただけない場合

06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル

500 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256 - 5444 Osaka (06) 6645 - 8787 Open: 9:00 -17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) 修理に関するご相談

修理ご相談窓口

パナは OO: 0120-878-554

■上記電話番号が ご利用いただけない場合

03-6633-6700 ■FAXフリーダイヤル

50 0120-878-225



便利な修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/

- ・ご相談の際は、ご使用の機器(ドアホン/ドアホン親機)に表示されている品番もお伝えください。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- ・ ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。 (パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについてはP.21をお読みください。

愛情点検

長年で使用のテレビドアホンの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、 電源プラグを抜 いて、必ず販売店 に点検をご相談 ください。

コミュニケーションプロダクツ事業部 パナソニック株式会社

〒 812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号

© Panasonic Corporation 2017



PNQX8546ZA N0617MT0 Printed in Vietnam